

## 令和元年度決算説明資料

## 目次

## I 令和元年度収支決算について

## 1 収支の状況

(1) 収支の概要	1P
(2) 収支の推移	2P
① 概要	2P
② 平成 30 年度決算との比較（病院別）	3P

## II 令和元年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について

1 資産・負債・純資産の状況	7P
2 施設整備・医療機器等購入について	8P
3 安佐市民病院の建替えについて	9P
4 企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金の状況	9P
5 留保資金の状況	9P

## 資料編

## 1 各年度決算比較

(1) 収支の状況	11P
(2) 収入の状況	12P
(3) 支出の状況	17P

# I 令和元年度収支決算について

## 1 収支の状況

### (1) 収支の概要

令和元年度収支決算は、収入合計 598.4 億円に対し、支出合計は 600.3 億円で、差引損益は▲1.9 億円の赤字となった。

なお、この赤字▲1.9 億円は、繰越欠損金として処理する予定である。

(表 1) 令和元年度収支決算

単位:億円

区 分		合 計 一般 1,482床 精神 28床 感染症 16床 計 1,526床	病 院 別			
			広島市民病院 一般 715床 精神 28床 計 743床	安佐市民病院 一般 527床	舟入市民病院 一般 140床 感染症 16床 計 156床	リハビリテーション病院 一般 100床 自立訓練施設 定員 60名
収 入	入院収入	367.4	211.9	123.7	15.9	15.9
	外来収入	166.3	103.2	50.3	11.9	0.9
	計	533.7	315.1	174.0	27.8	16.8
	その他	11.1	6.5	2.1	2.2	0.3
	小 計	544.8	321.6	176.1	30.0	17.1
	運営費負担金・交付金	45.7	18.6	6.9	13.3	6.9
	その他	7.9	3.7	1.9	1.0	1.3
	合 計	598.4	343.9	184.9	44.3	25.3
支 出	給与費	298.8	161.5	94.1	24.7	18.5
	材料費	177.8	116.4	55.7	5.3	0.4
	経費	73.2	38.2	21.4	8.7	4.9
	減価償却費	42.6	25.5	11.2	3.7	2.2
	その他	7.9	5.5	0.9	0.9	0.6
	合 計	600.3	347.1	183.3	43.3	26.6
差引損益		▲ 1.9	▲ 3.2	1.6	1.0	▲ 1.3

※ 本部事務局分は、安佐市民病院整備室に係る支出を除き、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分している。  
(按分比広島 43.2%、安佐 30.2%、舟入 15.1%、リハ 11.5%)

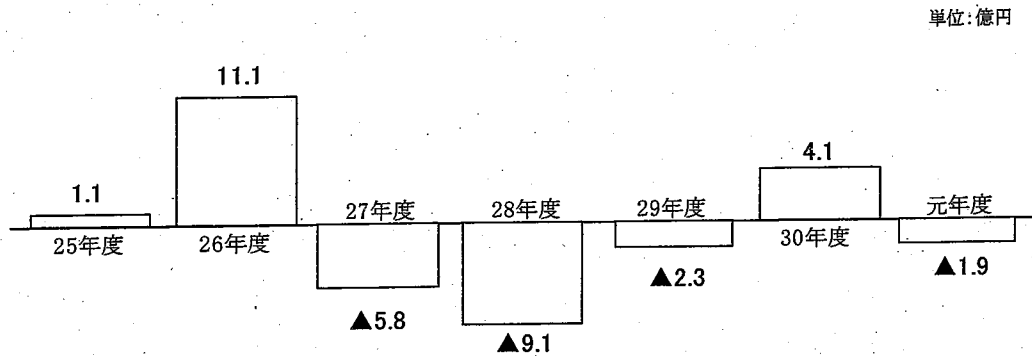
(2) 収支の推移

① 概要

平成26年度まで黒字を維持していたが、27年度から収支が悪化し、28年度は機構全体で▲9.1億円の赤字を計上した。このため、職員一丸となって一層の経営改善に取り組んだ結果、29年度から収支改善が図られ、30年度は4.1億円の黒字を計上した。

元年度については、12月末時点では黒字決算が達成できる見込であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1月以降収支が悪化し▲1.9億円の赤字を計上した。

(図1) 4病院の損益の推移



(表2) 病院別内訳

単位:億円

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	1.8	5.6	▲4.3	▲5.3	▲4.2	0.7	▲3.2
安佐市民病院	4.7	5.8	0.0	▲3.7	1.0	2.6	1.6
舟入市民病院	▲2.4	1.0	0.0	1.5	1.4	1.6	1.0
リハビリテーション病院	▲3.0	▲1.3	▲1.5	▲1.6	▲0.5	▲0.8	▲1.3
計	1.1	11.1	▲5.8	▲9.1	▲2.3	4.1	▲1.9

② 平成 30 年度決算との比較（病院別）

(7) 広島市民病院

収入については、入院収入は手術件数の増などによる診療単価の増により 2.9 億円増加し、外来収入は化学療法の増などによる診療単価の増により 5.9 億円増加した。また、運営費負担金・交付金については、企業債償還金に係る運営費負担金の減により▲0.8 億円減少した。これにより、収入合計は前年度に比べ 8.4 億円増加した。

一方、支出については、給与費は医師数の増などにより 3.7 億円増加し、材料費は化学療法の増による薬品費の増などにより 8 億円増加した。また、経費は医療機器の保守点検業務の増などにより 1.4 億円増加した。これにより、支出合計は前年度に比べ 12.3 億円増加した。

その結果、差引損益は、前年度に比べ▲3.9 億円減少し▲3.2 億円の赤字となった。

(表 3) 収支の推移

単位:億円

区分		28年度	29年度	30年度	元年度
収入	入院収入	200.4	202.8	209.0	211.9
	対前年度増減	-	2.4	6.2	2.9
	外来収入	89.0	90.3	97.3	103.2
	対前年度増減	-	1.3	7.0	5.9
	小計	289.4	293.1	306.3	315.1
	対前年度増減	-	3.7	13.2	8.8
	その他	5.1	5.2	5.8	6.5
	対前年度増減	-	0.1	0.6	0.7
	計	294.5	298.3	312.1	321.6
	運営費負担金・交付金	18.6	18.5	19.4	18.6
	対前年度増減	-	▲0.1	0.9	▲0.8
	その他	3.0	3.6	4.0	3.7
	対前年度増減	-	0.6	0.4	▲0.3
合計	316.1	320.4	335.5	343.9	
対前年度増減	-	4.3	15.1	8.4	
支出	給与費	152.8	155.6	157.8	161.5
	対前年度増減	-	2.8	2.2	3.7
	材料費	105.8	103.8	108.4	116.4
	対前年度増減	-	▲2.0	4.6	8.0
	経費	33.7	35.0	36.8	38.2
	対前年度増減	-	1.3	1.8	1.4
	減価償却費	23.1	24.6	25.6	25.5
	対前年度増減	-	1.5	1.0	▲0.1
	その他	6.0	5.6	6.2	5.5
	対前年度増減	-	▲0.4	0.6	▲0.7
合計	321.4	324.6	334.8	347.1	
対前年度増減	-	3.2	10.2	12.3	
差引損益		▲5.3	▲4.2	0.7	▲3.2
対前年度増減		-	1.1	4.9	▲3.9

※ 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(4) 安佐市民病院

収入については、入院収入は手術件数の増などによる診療単価の増により2.2億円増加し、外来収入は化学療法の増などによる診療単価の増により4.5億円増加した。また、運営費負担金・交付金については、企業債償還金に係る運営費負担金の減により▲0.2億円減少した。これにより、収入合計は前年度に比べ6.4億円増加した。

一方、支出については、給与費は定期昇給などにより2億円増加し、材料費は化学療法の増による薬品費の増などにより5.3億円増加した。また、経費は医療機器の修繕費の増などにより1.2億円増加した。これにより、支出合計は前年度に比べ7.4億円増加した。

その結果、差引損益は、前年度に比べ▲1億円減少したものの1.6億円の黒字となった。

(表4) 収支の推移

単位:億円

区分		28年度	29年度	30年度	元年度
収 入	入院収入	112.5	117.7	121.5	123.7
	対前年度増減	-	5.2	3.8	2.2
	外来収入	43.2	45.0	45.8	50.3
	対前年度増減	-	1.8	0.8	4.5
	小計	155.7	162.7	167.3	174.0
	対前年度増減	-	7.0	4.6	6.7
	その他	2.0	2.1	2.1	2.1
	対前年度増減	-	0.1	0.0	0.0
	計	157.7	164.8	169.4	176.1
	運営費負担金・交付金	8.7	8.5	7.1	6.9
	対前年度増減	-	▲0.2	▲1.4	▲0.2
	その他	1.4	1.7	2.0	1.9
	対前年度増減	-	0.3	0.3	▲0.1
	合計	167.8	175.0	178.5	184.9
対前年度増減	-	7.2	3.5	6.4	
支 出	給与費	90.0	90.4	92.1	94.1
	対前年度増減	-	0.4	1.7	2.0
	材料費	48.7	49.8	50.4	55.7
	対前年度増減	-	1.1	0.6	5.3
	経費	19.7	20.8	20.2	21.4
	対前年度増減	-	1.1	▲0.6	1.2
	減価償却費	12.3	12.1	11.7	11.2
	対前年度増減	-	▲0.2	▲0.4	▲0.5
	その他	0.8	0.9	1.5	0.9
	対前年度増減	-	0.1	0.6	▲0.6
合計	171.5	174.0	175.9	183.3	
対前年度増減	-	2.5	1.9	7.4	
差引損益		▲3.7	1.0	2.6	1.6
対前年度増減		-	4.7	1.6	▲1.0

※「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(ウ) 舟入市民病院

収入については、患者数の減などにより入院収入は▲0.8億円減少し、外来収入は▲0.2億円減少した。また、運営費負担金・交付金は感染症医療に係る運営費負担金の増により0.3億円増加した。これにより、収入合計は前年度に比べ▲0.8億円減少した。

一方、支出については、給与費は医師数の増などにより0.2億円増加し、材料費は患者数の減などにより▲0.3億円減少した。また、その他は借入残高が減少したことによる支払利息の減などにより▲0.2億円減少した。これにより、支出合計は前年度に比べ▲0.2億円減少した。

その結果、差引損益は、前年度に比べ▲0.6億円減少したものの1億円の黒字となった。

(表5) 収支の推移

単位:億円

区分		28年度	29年度	30年度	元年度
収入	入院収入	16.6	15.4	16.7	15.9
	対前年度増減	-	▲1.2	1.3	▲0.8
	外来収入	11.4	11.6	12.1	11.9
	対前年度増減	-	0.2	0.5	▲0.2
	小計	28.0	27.0	28.8	27.8
	対前年度増減	-	▲1.0	1.8	▲1.0
	その他	1.9	2.0	2.2	2.2
	対前年度増減	-	0.1	0.2	0.0
	計	29.9	29.0	31.0	30.0
	運営費負担金・交付金	13.5	14.0	13.0	13.3
	対前年度増減	-	0.5	▲1.0	0.3
	その他	1.1	1.1	1.1	1.0
	対前年度増減	-	0.0	0.0	▲0.1
	合計	44.5	44.1	45.1	44.3
対前年度増減	-	▲0.4	1.0	▲0.8	
支出	給与費	23.5	24.2	24.5	24.7
	対前年度増減	-	0.7	0.3	0.2
	材料費	6.0	5.5	5.6	5.3
	対前年度増減	-	▲0.5	0.1	▲0.3
	経費	8.1	8.4	8.7	8.7
	対前年度増減	-	0.3	0.3	0.0
	減価償却費	4.1	3.5	3.6	3.7
	対前年度増減	-	▲0.6	0.1	0.1
	その他	1.3	1.1	1.1	0.9
	対前年度増減	-	▲0.2	0.0	▲0.2
合計	43.0	42.7	43.5	43.3	
対前年度増減	-	▲0.3	0.8	▲0.2	
差引損益		1.5	1.4	1.6	1.0
対前年度増減		-	▲0.1	0.2	▲0.6

※「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(E) リハビリテーション病院・自立訓練施設

収入については、入院収入は患者数の増などにより0.1億円増加し、外来収入は外来リハビリテーションの単位数の増などにより0.1億円増加した。また、その他は利用者数の増による自立訓練施設収益の増などにより0.3億円増加した。これにより、収入合計は前年度に比べ0.4億円増加した。

一方、支出については、給与費は定期昇給などにより0.7億円増加し、経費は患者給食委託業務の増などにより0.2億円増加した。これにより、支出合計は前年度に比べ0.9億円増加した。

その結果、差引損益は、前年度に比べ▲0.5億円減少し▲1.3億円の赤字となった。

(表6) 収支の推移

単位:億円

区分		28年度	29年度	30年度	元年度
収 入	入院収入	15.4	15.9	15.8	15.9
	対前年度増減	-	0.5	▲0.1	0.1
	外来収入	0.5	0.7	0.8	0.9
	対前年度増減	-	0.2	0.1	0.1
	小計	15.9	16.6	16.6	16.8
	対前年度増減	-	0.7	0.0	0.2
	その他	0.3	0.3	0.3	0.3
	対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
	計	16.2	16.9	16.9	17.1
	運営費負担金・交付金	6.4	7.7	7.0	6.9
対前年度増減	-	1.3	▲0.7	▲0.1	
その他	1.0	0.9	1.0	1.3	
対前年度増減	-	▲0.1	0.1	0.3	
合計	23.6	25.5	24.9	25.3	
対前年度増減	-	1.9	▲0.6	0.4	
支 出	給与費	17.0	18.0	17.8	18.5
	対前年度増減	-	1.0	▲0.2	0.7
	材料費	0.5	0.4	0.4	0.4
	対前年度増減	-	▲0.1	0.0	0.0
	経費	4.3	4.7	4.7	4.9
	対前年度増減	-	0.4	0.0	0.2
	減価償却費	2.4	2.2	2.2	2.2
	対前年度増減	-	▲0.2	0.0	0.0
	その他	1.0	0.7	0.6	0.6
	対前年度増減	-	▲0.3	▲0.1	0.0
合計	25.2	26.0	25.7	26.6	
対前年度増減	-	0.8	▲0.3	0.9	
差引損益		▲1.6	▲0.5	▲0.8	▲1.3
対前年度増減		-	1.1	▲0.3	▲0.5

※「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

## Ⅱ 令和元年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について

### 1 資産・負債・純資産の状況

#### (1) 固定資産

広島市民病院中央棟水熱源ヒートポンプ型ファンコイルユニット改修工事や一般撮影装置の購入などにより 40.4 億円増加したものの、減価償却等により▲46.6 億円減少したことから▲6.3 億円減の 504.3 億円となった。

#### (2) 流動資産

材料費等支出の増加や安佐市民病院の建替えによる土地取得に係る借入金（9.7 億円）が翌年度入金となったことなどにより、現金預金が▲22.3 億円減少し、入院収入・外来収入の増加に伴い、未収金が 6.8 億円増加し、全体としては▲15.6 億円減の 222.4 億円となった。

#### (3) 固定負債

施設整備や医療機器購入などの財源として、広島市から長期借入金を借り入れ 35.7 億円増加したものの、移行前地方債の償還などにより▲46.5 億円減少したことから▲10.8 億円減の 436.2 億円となった。

#### (4) 流動負債

施設整備、医療機器購入などに係る未払金、一年以内に返済予定の移行前地方債償還債務がともに減少したことなどにより▲9.9 億円減の 95.6 億円となった。

#### (5) 資本金

広島市からの出資金 193.9 億円で、期首から増減はない。

#### (6) 資本剰余金

リハビリテーション病院の土地に対する移行前地方債の償還にかかる広島市からの運営費負担金などにより 0.8 億円を計上し 4.9 億円となった。

#### (7) 繰越欠損金

前年度からの繰越欠損金▲2 億円に当期総損失▲1.9 億円を合わせた▲3.9 億円となった。

(表7) 貸借対照表 (全体)

単位:億円

区 分	30年度末残高 A	元年度末残高 B	増 ▲ 減 B-A
資 産			
固 定 資 産	510.6	504.3	▲ 6.3
流 動 資 産	238.0	222.4	▲ 15.6
現 金 預 金	141.8	119.5	▲ 22.3
未 収 金	93.9	100.7	6.8
そ の 他	2.3	2.2	▲ 0.1
合 計	748.5	726.7	▲ 21.8
負 債			
固 定 負 債	447.0	436.2	▲ 10.8
流 動 負 債	105.5	95.6	▲ 9.9
未 払 金	52.8	44.3	▲ 8.5
そ の 他 流 動 負 債	52.7	51.3	▲ 1.4
計	552.5	531.8	▲ 20.7
純 資 産			
資 本 金	193.9	193.9	0.0
設 立 団 体 出 資 金	193.9	193.9	0.0
資 本 剰 余 金	4.1	4.9	0.8
繰 越 欠 損 金	▲ 2.0	▲ 3.9	▲ 1.9
計	196.0	194.9	▲ 1.1
合 計	748.5	726.7	▲ 21.8



## 2 施設整備・医療機器等購入について

### (1) 概要

安佐市民病院の建替えに係る整備費を除き、施設整備・医療機器等購入は、中期計画で平成30～令和3年度の4か年の事業費総額82.8億円を定め、その範囲内で必要な整備を行うこととしている。

元年度の事業費は、予算の22.6億円に対し、決算は13億円となったが、工期・納期が令和2年度に及ぶため、翌年度へ事業費を繰越した6.7億円と合わせた合計事業費は、19.7億円で、執行残は2.9億円である。

なお、決算額13億円の財源としては、広島市からの長期借入金のほか、医療機器等購入については、広島市民病院で2.6億円の留保資金を活用した。

### (2) 施設整備

施設整備は、広島市民病院が中央棟水熱源ヒートポンプ型ファンコイルユニット改修工事外1.1億円、舟入市民病院が本館ボイラー設備改修工事外0.6億円の合計1.7億円を実施した。

### (3) 医療機器等購入

医療機器等は、広島市民病院が一般撮影装置外7.4億円、安佐市民病院が網膜撮影装置外3億円、舟入市民病院が病棟患者モニタリングシステム外0.7億円、リハビリテーション病院が昇降式介護浴槽外0.2億円の合計11.3億円を購入した。

(表8) 令和元年度施設整備・医療機器等購入の内訳

単位:億円

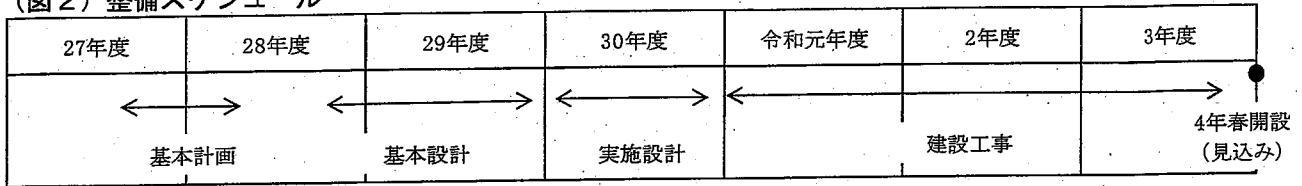
区分	元年度予算 ①	元年度決算 ②	2年度への 繰越③	合計 ④(②+③)	差引 ①-④	財源	主な整備内容	
広島市民病院	施設整備	4.7	<u>1.1</u>	3.3	4.4	0.3	長期借入金	中央棟水熱源ヒートポンプ型ファンコイルユニット改修工事外
	医療機器等購入	(5.2)	(2.6)	(1.4)	(4.0)	(1.2)	留保資金	一般撮影装置外
		10.0	<u>7.4</u>	1.4	8.8	1.2	長期借入金	
	計	(5.2)	(2.6)	(1.4)	(4.0)	(1.2)		
	14.7	8.5	4.7	13.2	1.5			
安佐市民病院	施設整備	-	<u>0.0</u>	-	0.0	0.0		
	医療機器等購入	(0.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.4)	長期借入金	網膜撮影装置外
		6.0	<u>3.0</u>	1.8	4.8	1.2		
	計	(0.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.4)		
	6.0	3.0	1.8	4.8	1.2			
舟入市民病院	施設整備	0.9	<u>0.6</u>	0.2	0.8	0.1	長期借入金	本館ボイラー設備改修工事外
	医療機器等購入	0.7	<u>0.7</u>	0.0	0.7	0.0	長期借入金	病棟患者モニタリングシステム外
	計	1.6	1.3	0.2	1.5	0.1		
リハビリテーション病院	施設整備	-	-	-	0.0	0.0	長期借入金	
	医療機器等購入	0.3	<u>0.2</u>	0.0	0.2	0.1	長期借入金	昇降式介護浴槽外
	計	0.3	0.2	0.0	0.2	0.1		
合計	施設整備	5.6	<u>1.7</u>	3.5	5.2	0.4	長期借入金	
	医療機器等購入	(5.6)	(2.6)	(1.4)	(4.0)	(1.6)	留保資金	
		17.0	<u>11.3</u>	3.2	14.5	2.5	長期借入金	
	計	(5.6)	(2.6)	(1.4)	(4.0)	(1.6)		
	22.6	13.0	6.7	19.7	2.9			

※ ( )内の数値は、留保資金を財源として購入した額で、下段の内数。

### 3 安佐市民病院の建替えについて

荒下地区に整備する病院について、整備費 312.7 億円のうち元年度決算額は 22.7 億円で、工事監理、建設工事及び土地取得を行った。

(図2) 整備スケジュール



(表9) 整備費の内訳

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	合計	
基本計画	0.2	-	-	-	-	-	-	0.2	
建替整備費	基本設計	-	1.3	-	-	-	-	1.3	
	工事監理等	-	0.5	0.4	1.4	2.5	5.8	0.1	10.7
	実施設計	-	-	3.1	-	-	-	-	3.1
	建設費	-	-	-	11.6	127.5	65.8	-	204.9
	土地購入費	-	-	-	9.7	9.5	-	-	19.2
	医療機器購入費	-	-	-	-	-	73.3	-	73.3
合計	0.2	1.8	3.5	22.7	139.5	144.9	0.1	312.5	
合計	0.2	1.8	3.5	22.7	139.5	144.9	0.1	312.7	

### 4 企業債(移行前地方債償還債務)・長期借入金の状況

企業債(移行前地方債償還債務)・長期借入金については、元年度中に 23.2 億円借入れ 37.4 億円の償還を行ったため、元年度末の残高は 324.8 億円となり、30 年度末残高から▲14.2 億円減少した。

(表10) 企業債(移行前地方債償還債務)・長期借入金の推移

単位:億円

区分	30年度末残高 A	元年度中の借入・償還		元年度末残高 B	増 ▲ 減 B - A
		当期増加	当期減少		
広島市民病院	209.1	5.9	20.0	195.0	▲ 14.1
安佐市民病院	28.0	15.9	7.1	36.8	8.8
舟入市民病院	45.9	1.2	6.7	40.4	▲ 5.5
リハビリテーション病院	56.0	0.2	3.6	52.6	▲ 3.4
合計	339.0	23.2	37.4	324.8	▲ 14.2

### 5 留保資金の状況

留保資金は、30 年度末残高は 182.8 億円であったが、元年度末残高は 175.2 億円となり、▲7.6 億円減少した。

(表11) 元年度末留保資金の病院別内訳

単位:億円

区分	30年度末残高 A	元年度末残高 B	増 ▲ 減 B - A
広島市民病院	90.9	93.3	2.4
安佐市民病院	71.0	64.6	▲ 6.4
舟入市民病院	20.9	17.3	▲ 3.6
合計	182.8	175.2	▲ 7.6

# 資 料 編

# 1 各年度決算比較

## (1) 収支の状況

(表1) 収支の推移

単位:億円

区分		28年度	29年度	30年度	元年度
収 入	入院収入	344.9	351.8	363.0	367.4
	対前年度増減	-	6.9	11.2	4.4
	外来収入	144.1	147.6	156.0	166.3
	対前年度増減	-	3.5	8.4	10.3
	小計	489.0	499.4	519.0	533.7
	対前年度増減	-	10.4	19.6	14.7
	その他	9.3	9.6	10.4	11.1
	対前年度増減	-	0.3	0.8	0.7
	計	498.3	509.0	529.4	544.8
	運営費負担金・交付金	47.2	48.7	46.5	45.7
	対前年度増減	-	1.5	▲ 2.2	▲ 0.8
	その他	6.5	7.3	8.1	7.9
	対前年度増減	-	0.8	0.8	▲ 0.2
合計	552.0	565.0	584.0	598.4	
対前年度増減	-	13.0	19.0	14.4	
支 出	給与費	283.3	288.2	292.2	298.8
	対前年度増減	-	4.9	4.0	6.6
	材料費	161.0	159.5	164.8	177.8
	対前年度増減	-	▲ 1.5	5.3	13.0
	経費	65.8	68.9	70.4	73.2
	対前年度増減	-	3.1	1.5	2.8
	減価償却費	41.9	42.4	43.1	42.6
	対前年度増減	-	0.5	0.7	▲ 0.5
	その他	9.1	8.3	9.4	7.9
	対前年度増減	-	▲ 0.8	1.1	▲ 1.5
合計	561.1	567.3	579.9	600.3	
対前年度増減	-	6.2	12.6	20.4	
差引損益		▲ 9.1	▲ 2.3	4.1	▲ 1.9
対前年度増減		-	6.8	6.4	▲ 6.0

※ 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

## (2) 収入の状況

(表2) 入院収入

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	200.4	202.8	209.0	211.9
対前年度増減	-	2.4	6.2	2.9
安佐市民病院	112.5	117.7	121.5	123.7
対前年度増減	-	5.2	3.8	2.2
舟入市民病院	16.6	15.4	16.7	15.9
対前年度増減	-	▲ 1.2	1.3	▲ 0.8
リハビリテーション病院	15.4	15.9	15.8	15.9
対前年度増減	-	0.5	▲ 0.1	0.1
計	344.9	351.8	363.0	367.4
対前年度増減	-	6.9	11.2	4.4

(表3) 病床利用率

単位:%

区分	28年度		29年度		30年度		元年度	
広島市民病院	95.8		96.3		95.8		94.7	
対前年度増減	-		0.5		▲ 0.5		▲ 1.1	
安佐市民病院	85.7		88.5		87.9		87.7	
対前年度増減	-		2.8		▲ 0.6		▲ 0.2	
舟入市民病院	(82.9)	77.0	(76.1)	72.9	(76.8)	76.0	(73.4)	73.3
対前年度増減	-	(▲ 6.8)	▲ 4.1	(0.7)	3.1	(▲ 3.4)	▲ 2.7	
リハビリテーション病院	96.5		95.1		94.4		95.3	
対前年度増減	-		▲ 1.4		▲ 0.7		0.9	

※ 舟入市民病院の( )の数値は、内科・外科のみの数値

(表4) 入院患者数

単位:人

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	259,867	261,230	259,925	257,653
対前年度増減	-	1,363	▲ 1,305	▲ 2,272
安佐市民病院	164,893	170,206	169,152	169,152
対前年度増減	-	5,313	▲ 1,054	0
舟入市民病院	37,644	35,661	37,184	35,938
対前年度増減	-	▲ 1,983	1,523	▲ 1,246
リハビリテーション病院	35,225	34,710	34,467	34,877
対前年度増減	-	▲ 515	▲ 243	410
計	497,629	501,807	500,728	497,620
対前年度増減	-	4,178	▲ 1,079	▲ 3,108

(表5) 新規入院患者数

単位:人

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	20,781	20,748	20,605	21,317
対前年度増減	-	▲ 33	▲ 143	712
安佐市民病院	14,270	14,520	14,920	15,624
対前年度増減	-	250	400	704
舟入市民病院	3,789	3,727	4,216	4,178
対前年度増減	-	▲ 62	489	▲ 38
リハビリテーション病院	406	454	461	500
対前年度増減	-	48	7	39
計	39,246	39,449	40,202	41,619
対前年度増減	-	203	753	1,417

(表6) 平均在院日数

単位:日

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	11.5	11.6	11.6	11.1
対前年度増減	-	0.1	0.0	▲ 0.5
安佐市民病院	10.6	10.7	10.4	9.8
対前年度増減	-	0.1	▲ 0.3	▲ 0.6
舟入市民病院	8.9	8.6	7.9	7.6
対前年度増減	-	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 0.3
リハビリテーション病院	91.5	79.2	77.9	75.2
対前年度増減	-	▲ 12.3	▲ 1.3	▲ 2.7

(表7) 入院単価/患者1人・1日当たり

単位:円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	77,119	77,648	80,399	82,249
対前年度増減	-	529	2,751	1,850
安佐市民病院	68,209	69,143	71,822	73,155
対前年度増減	-	934	2,679	1,333
舟入市民病院	44,002	43,149	44,904	44,353
対前年度増減	-	▲ 853	1,755	▲ 551
リハビリテーション病院	43,770	45,767	45,765	45,742
対前年度増減	-	1,997	▲ 2	▲ 23

(表8) 手術件数

単位:件

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	9,301	9,735	10,076	10,301
対前年度増減	-	434	341	225
安佐市民病院	5,779	5,828	5,811	6,174
対前年度増減	-	49	▲17	363
舟入市民病院	666	649	624	560
対前年度増減	-	▲17	▲25	▲64
リハビリテーション病院	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-
計	15,746	16,212	16,511	17,035
対前年度増減	-	466	299	524

※ 件数は、手術室で行った手術件数を集計

(表9) 救急患者数

単位:人

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	32,734	31,878	30,888	31,577
対前年度増減	-	▲856	▲990	689
安佐市民病院	10,904	11,066	11,572	11,348
対前年度増減	-	162	506	▲224
舟入市民病院	38,018	40,421	36,957	35,739
対前年度増減	-	2,403	▲3,464	▲1,218
リハビリテーション病院	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-
計	81,656	83,365	79,417	78,664
対前年度増減	-	1,709	▲3,948	▲753

(表10) 外来収入

単位: 億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	89.0	90.3	97.3	103.2
対前年度増減	-	1.3	7.0	5.9
安佐市民病院	43.2	45.0	45.8	50.3
対前年度増減	-	1.8	0.8	4.5
舟入市民病院	11.4	11.6	12.1	11.9
対前年度増減	-	0.2	0.5	▲ 0.2
リハビリテーション病院	0.5	0.7	0.8	0.9
対前年度増減	-	0.2	0.1	0.1
計	144.1	147.6	156.0	166.3
対前年度増減	-	3.5	8.4	10.3

(表11) 外来患者数

単位: 人

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	434,809	436,792	436,039	432,758
対前年度増減	-	1,983	▲ 753	▲ 3,281
安佐市民病院	197,938	196,552	193,273	192,530
対前年度増減	-	▲ 1,386	▲ 3,279	▲ 743
舟入市民病院	85,819	86,847	85,096	83,241
対前年度増減	-	1,028	▲ 1,751	▲ 1,855
リハビリテーション病院	4,178	4,908	5,263	5,367
対前年度増減	-	730	355	104
計	722,744	725,099	719,671	713,896
対前年度増減	-	2,355	▲ 5,428	▲ 5,775

(表12) 外来単価/患者1人・1日当たり

単位: 円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	20,465	20,671	22,325	23,834
対前年度増減	-	206	1,654	1,509
安佐市民病院	21,862	22,886	23,682	26,104
対前年度増減	-	1,024	796	2,422
舟入市民病院	13,344	13,422	14,205	14,348
対前年度増減	-	78	783	143
リハビリテーション病院	11,847	14,083	15,090	16,714
対前年度増減	-	2,236	1,007	1,624



(表13-1) 運営費負担金・交付金の推移 (損益収支分)

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	18.6	18.5	19.4	18.6
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.9	▲ 0.8
安佐市民病院	8.7	8.5	7.1	6.8
対前年度増減	-	▲ 0.2	▲ 1.4	▲ 0.3
舟入市民病院	13.5	14.0	13.0	13.3
対前年度増減	-	0.5	▲ 1.0	0.3
リハビリテーション病院	6.4	7.7	7.0	6.9
対前年度増減	-	1.3	▲ 0.7	▲ 0.1
計	47.2	48.7	46.5	45.6
対前年度増減	-	1.5	▲ 2.2	▲ 0.9

(表13-2) 運営費負担金・交付金の推移 (資本収支分)

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
安佐市民病院	0.0	0.9	0.1	0.0
対前年度増減	-	0.9	▲ 0.8	▲ 0.1
舟入市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
リハビリテーション病院	1.2	1.2	1.2	1.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	1.2	2.1	1.3	1.2
対前年度増減	-	0.9	▲ 0.8	▲ 0.1

(表14) 元年度運営費負担金・交付金の内訳

単位:億円

区分	合計	病院別			
		広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
1. 保健衛生行政(自立訓練施設分を含む)	3.2	0.2	0.2	0.8	2.0
2. 救急医療	12.2	7.7	2.2	2.3	-
3. 被爆者健診	0.3	-	-	0.3	-
4. 看護師養成	0.5	0.3	0.1	0.1	0.0
5. 特殊医療(リハビリテーション等)	3.5	0.0	1.3	-	2.2
6. 感染症医療	0.8	-	-	0.8	-
7. 小児医療	2.5	-	0.2	2.3	-
8. 院内保育	0.6	0.3	0.3	-	-
9. 企業債利息償還金	1.9	1.1	0.0	0.5	0.3
10. 医師等の研究研修に要する経費	0.6	0.3	0.2	0.1	0.0
11. 共済組合追加費用	0.9	0.5	0.3	0.1	-
12. 基礎年金拠出金公的負担経費	2.4	2.4	-	-	-
13. 退職手当(交付金)	0.3	-	-	0.3	-
14. 企業債元金償還金(リハ病院土地取得分を除く)	15.9	5.8	2.0	5.7	2.4
計	45.6	18.6	6.8	13.3	6.9
15. 企業債元金償還金(リハ病院土地取得分)	1.2	-	-	-	1.2
16. 安佐市民病院建替整備分	0.0	-	0.0	-	-
計	1.2	-	0.0	-	1.2
合計	46.8	18.6	6.8	13.3	8.1

区分	合計	病院別			
		広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
北館 17. 安佐市民病院北館準備調整に係る経費	0.1	-	0.1	-	-
18. 安佐市民病院北館整備事業	1.1	-	1.1	-	-
合計	1.2	-	1.2	-	-

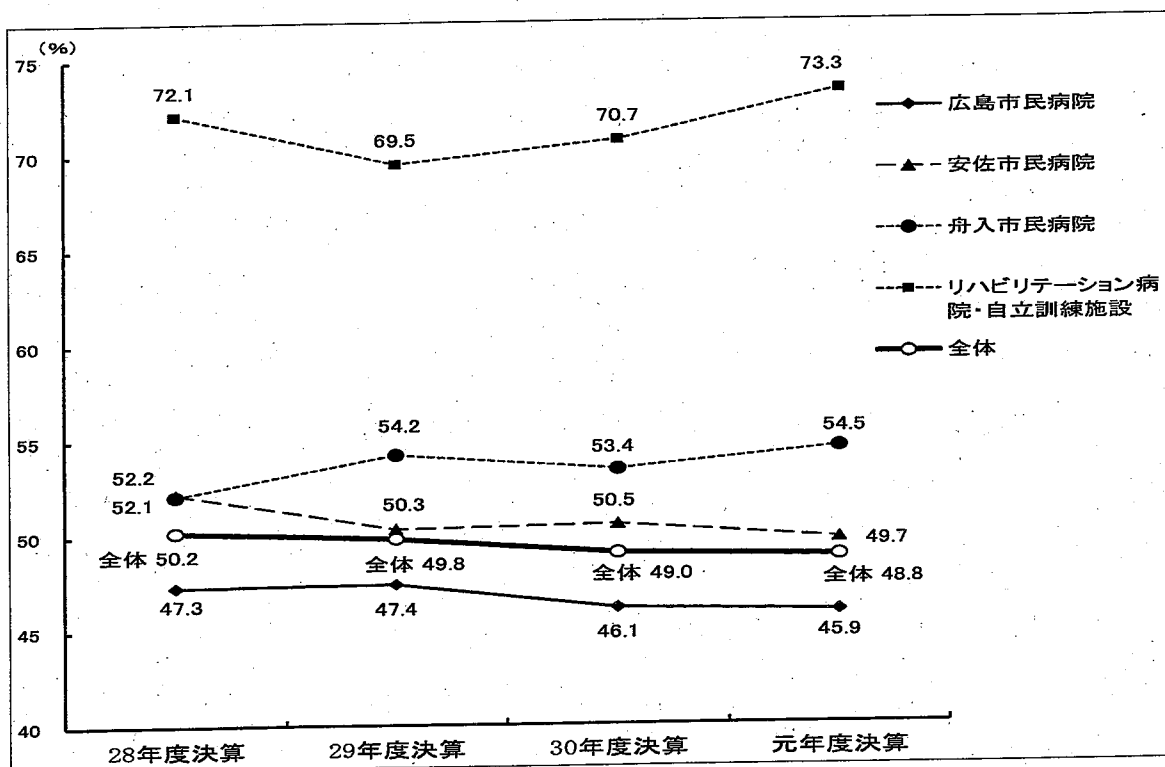
(3) 支出の状況

(表15) 給与費

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	152.8	155.6	157.8	161.5
対前年度増減	-	2.8	2.2	3.7
安佐市民病院	90.0	90.4	92.1	94.1
対前年度増減	-	0.4	1.7	2.0
舟入市民病院	23.5	24.2	24.5	24.7
対前年度増減	-	0.7	0.3	0.2
リハビリテーション病院	17.0	18.0	17.8	18.5
対前年度増減	-	1.0	▲ 0.2	0.7
計	283.3	288.2	292.2	298.8
対前年度増減	-	4.9	4.0	6.6

(図1) 給与費対医業収益等比率



注 給与費対医業収益等比率=(給与費/医業収益等)×100

- ・給与費は退職給付費用を除く。また、本部事務局分の給与費は、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分し、各病院に加算している。
- ・医業収益等は、医業収益(「入院収入」+「外来収入」+「その他医業収入」)に「損益収支への繰入金」を加えたものとしており、事業報告に記載している「給与費対医業収益比率」とは異なっている。

(表16) 給与費の推移-職種別

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
医師	64.8	64.4	65.7	67.4
対前年度増減	-	▲ 0.4	1.3	1.7
看護師	121.5	123.8	126.0	128.4
対前年度増減	-	2.3	2.2	2.4
医療技術職	34.9	37.6	38.0	38.5
対前年度増減	-	2.7	0.4	0.5
事務	10.1	9.1	9.4	9.5
対前年度増減	-	▲ 1.0	0.3	0.1
業務員	0.5	0.8	1.0	1.2
対前年度増減	-	0.3	0.2	0.2
嘱託・臨時	41.3	41.8	42.0	43.3
対前年度増減	-	0.5	0.2	1.3

(表17) 正規職員数の推移

単位:人

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
医師	328	325	327	342
対前年度増減	-	▲ 3	2	15
看護師	1,439	1,441	1,458	1,500
対前年度増減	-	2	17	42
医療技術職	502	524	526	531
対前年度増減	-	22	2	5
事務	107	106	114	119
対前年度増減	-	▲ 1	8	5
業務員	8	13	15	20
対前年度増減	-	5	2	5
計	2,384	2,409	2,440	2,512
対前年度増減	-	25	31	72

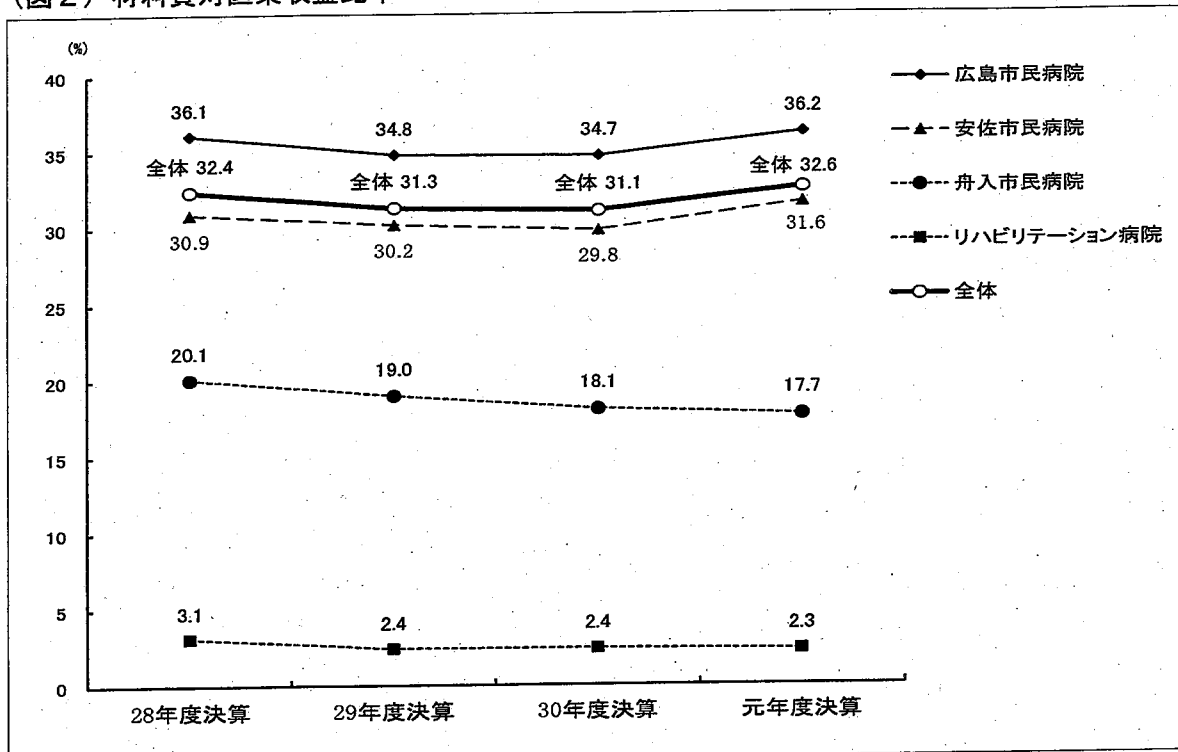
※ 職員数は各月の給与支給人員の平均

(表18) 材料費

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	105.8	103.8	108.4	116.4
対前年度増減	-	▲ 2.0	4.6	8.0
安佐市民病院	48.7	49.8	50.4	55.7
対前年度増減	-	1.1	0.6	5.3
舟入市民病院	6.0	5.5	5.6	5.3
対前年度増減	-	▲ 0.5	0.1	▲ 0.3
リハビリテーション病院	0.5	0.4	0.4	0.4
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.0	0.0
計	161.0	159.5	164.8	177.8
対前年度増減	-	▲ 1.5	5.3	13.0

(図2) 材料費対医業収益比率



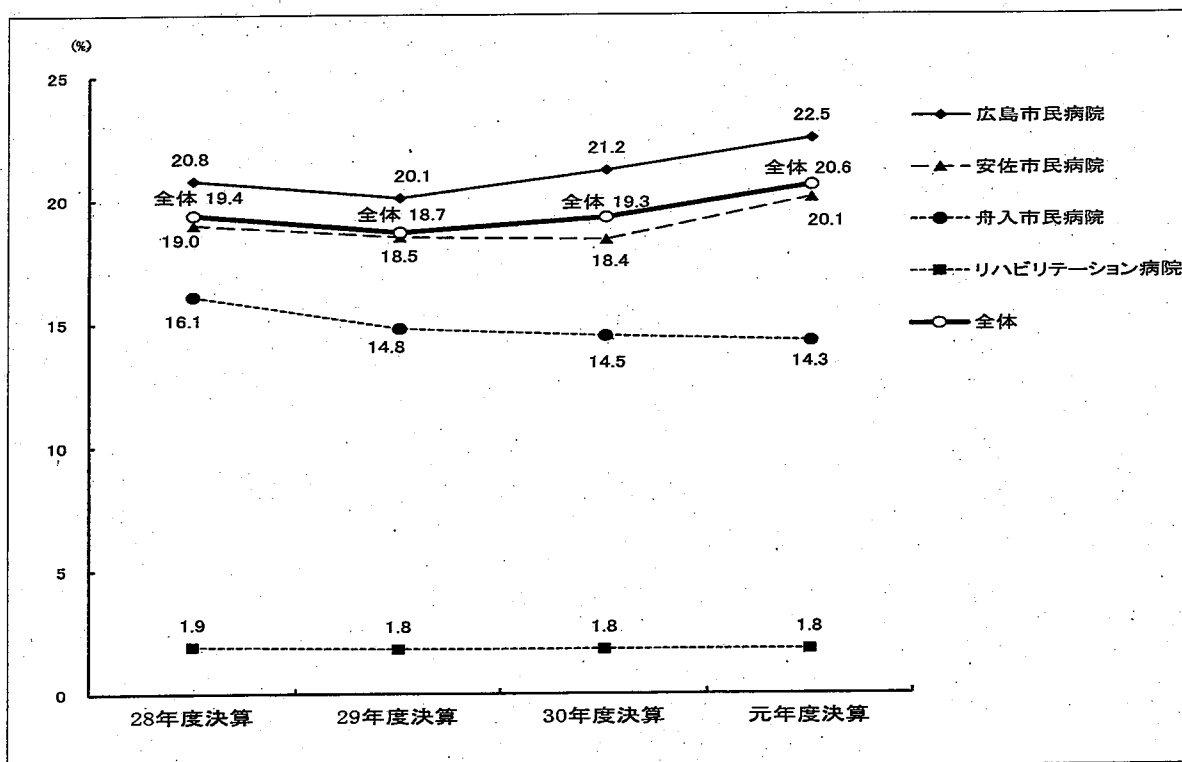
注 材料費対医業収益比率=[材料費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

(表19) 材料費のうち薬品費

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	61.1	60.0	66.1	72.2
対前年度増減	-	▲ 1.1	6.1	6.1
安佐市民病院	30.0	30.5	31.1	35.4
対前年度増減	-	0.5	0.6	4.3
舟入市民病院	4.8	4.3	4.5	4.3
対前年度増減	-	▲ 0.5	0.2	▲ 0.2
リハビリテーション病院	0.3	0.3	0.3	0.3
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	96.2	95.1	102.0	112.2
対前年度増減	-	▲ 1.1	6.9	10.2

(図3) 薬品費対収益比率



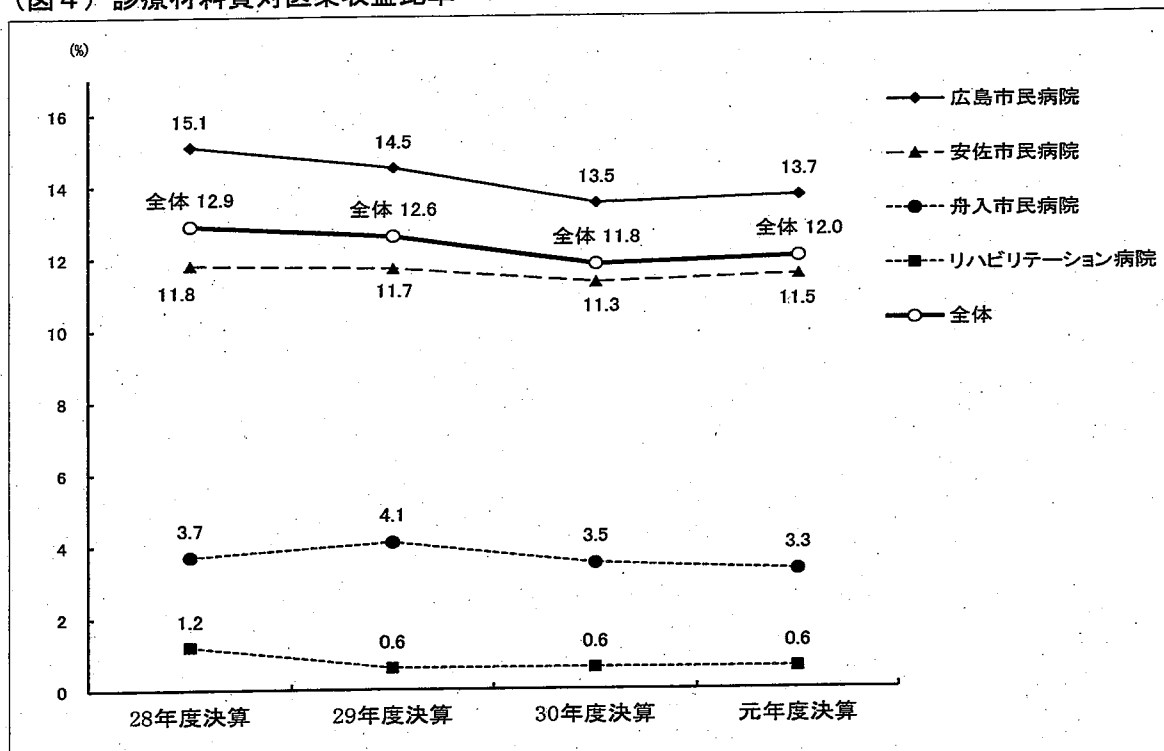
注 薬品費対医業収益比率 = [薬品費 / 医業収益(入院収入 + 外来収入 + その他医業収入)] × 100

(表20) 材料費のうち診療材料費

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	44.3	43.4	42.2	44.1
対前年度増減	-	▲ 0.9	▲ 1.2	1.9
安佐市民病院	18.6	19.3	19.2	20.2
対前年度増減	-	0.7	▲ 0.1	1.0
舟入市民病院	1.1	1.2	1.1	1.0
対前年度増減	-	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1
リハビリテーション病院	0.2	0.1	0.1	0.1
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.0	0.0
計	64.2	64.0	62.6	65.4
対前年度増減	-	▲ 0.2	▲ 1.4	2.8

(図4) 診療材料費対医業収益比率



注 診療材料費対医業収益比率 = [診療材料費 / 医業収益 (入院収入 + 外来収入 + その他医業収入)] × 100

※ 材料費の内訳として主なものを記載しており、この他に、給食材料費、医療消耗備品費があることから内訳の合計額は、材料費の決算額とは一致しない。

(表21) 経費

単位:億円

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	33.7	35.0	36.8	38.2
対前年度増減	-	1.3	1.8	1.4
安佐市民病院	19.7	20.8	20.2	21.4
対前年度増減	-	1.1	▲ 0.6	1.2
舟入市民病院	8.1	8.4	8.7	8.7
対前年度増減	-	0.3	0.3	0.0
リハビリテーション病院	4.3	4.7	4.7	4.9
対前年度増減	-	0.4	0.0	0.2
計	65.8	68.9	70.4	73.2
対前年度増減	-	3.1	1.5	2.8

(表22) 減価償却費

単位:億円

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	23.1	24.6	25.6	25.5
対前年度増減	-	1.5	1.0	▲ 0.1
安佐市民病院	12.3	12.1	11.7	11.2
対前年度増減	-	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 0.5
舟入市民病院	4.1	3.5	3.6	3.7
対前年度増減	-	▲ 0.6	0.1	0.1
リハビリテーション病院	2.4	2.2	2.2	2.2
対前年度増減	-	▲ 0.2	0.0	0.0
計	41.9	42.4	43.1	42.6
対前年度増減	-	0.5	0.7	▲ 0.5

(表23) その他の支出

## ア 費目別

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
資産減耗費	0.3	0.2	0.7	0.2
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.5	▲ 0.5
過年度損益修正損	0.9	0.5	1.5	1.3
対前年度増減	-	▲ 0.4	1.0	▲ 0.2
長期借入金・移行前地方債利息	6.6	5.8	5.2	4.8
対前年度増減	-	▲ 0.8	▲ 0.6	▲ 0.4
その他	1.3	1.8	2.0	1.6
対前年度増減	-	0.5	0.2	▲ 0.4
計	9.1	8.3	9.4	7.9
対前年度増減	-	▲ 0.8	1.1	▲ 1.5

## イ 病院別

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度
広島市民病院	6.0	5.6	6.2	5.5
対前年度増減	-	▲ 0.4	0.6	▲ 0.7
安佐市民病院	0.8	0.9	1.5	0.9
対前年度増減	-	0.1	0.6	▲ 0.6
舟入市民病院	1.3	1.1	1.1	0.9
対前年度増減	-	▲ 0.2	0.0	▲ 0.2
リハビリテーション病院	1.0	0.7	0.6	0.6
対前年度増減	-	▲ 0.3	▲ 0.1	0.0
計	9.1	8.3	9.4	7.9
対前年度増減	-	▲ 0.8	1.1	▲ 1.5